

令和5年度学校関係者評価委員会の評価結果

1 実施期日 令和5年6月1日(木)

2 学校関係者評価委員 (敬称略)

富澤 一仁 熊本大学副学長 (学識経験者)  
 飯田 恵子 熊本県立熊本商業高等学校長 (高校代表)  
 三浦 弘文 愛保育園園長、熊本市保育園連盟理事 (関連業界)  
 後藤 克哉 (株)Care&Partners代表取締役会長 (関連業界、企業)  
 西田 聖平 いのまた眼科 (卒業生)

3 学校関係者評価委員の評価結果 A:適切 B:ほぼ適切 C:普通 D:やや不適切 E:不適切

領域	評価項目	
1 教育理念	①学校の教育目標・教育方針を十分に理解しているか	
	②学校の特色とあげられる教育活動等を工夫・展開しているか	
	③学校の中期的(3~5年程度先)構想を描いているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<p>・高校も同じだが、人口減少は大きな課題だ。出生数が80万人を割ったということは15年後の高校生の数も80万を超えることはない。常に、中期的構想の見通しが求められていると感じる。</p> <p>・①と②については、数字だけで見たら評価4以上を目指すべき。ただ、①は理解しているといっても個人差があるので、理解の物差しが必要。それをみんなで話し合うことが理解へつながっていく。</p> <p>・②については、専門の資格を取った後の身の施し方について、種をまいておく必要がある。社会の表層では何の専門家かわかることが必要だが、実は好奇心旺盛で視界が開けている人物を求めているため、教育活動もそこに目を向けると特色のある学校へと進化を遂げると思う。</p> <p>・③について、幼稚園の先生と病院と介護などはAIに駆逐されることはない。喫緊の課題は医療事務である。医療事務の仕事が将来どうか変わっていくか、学校側はその想像力を鍛えなければならない。それには、大学や病院、専門家など多方面へのヒアリングが必要になる。</p>
2 学校経営	①学校運営方針を明確に把握しているか、また、それを基にした各種諸規定等の整備に努めているか	
	②学校の目的・目標を達成するための事業計画のもと、事業計画に沿った運営・活動を実施しているか	
	③校務分掌を把握・理解しているか、また、学校全体として十分に機能しているか	
	④会議等の運営を円滑に行い、かつ、コミュニケーションを十分に図っているか	
	⑤意思決定システムを把握し、それに基づいた運営に従事しているか	
	⑥情報システム化等による業務の効率化を図っているか	
	⑦危機管理体制を把握し、マニュアル、緊急用備品等の整備を行っているか	
	⑧就業規則等の適宜の見直し・整備を十分に把握しているか	
	⑨適切な健康管理は適切に行われているか、また、自己健康管理に努めているか	
	⑩セクシャルハラスメント、パワーハラスメント防止に向けた配慮や取組は図っているか	
	⑪学校自己評価点検は適切に行っているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	C	<p>・学校運営を活性化していくには、職員の意識を変えていく必要がある。職員の提案等を具現化しながら学校運営に参画している意識を持ってもらえるといいですね。</p> <p>・どれも可もなく不可もなくという評価。どれに特化していれば魅力的な学校なのか残っていくべき学校はどれに注目していくべきか、生徒に聞いてみるのもありでは。まずは3つの項目で評価4以上を目標に。</p> <p>・中学校、高校も旧態然とした授業に危機感を感じて、その内容が変わってきている。重要なのは、生徒と一緒に語れる未来や世界を常に模索しているかで、専門学校も全く同じだと思う。</p>
3 教育活動	①生徒や保護者、社会のニーズに応じた教育目標の設定は行っているか	
	②教育理念や指導方針等について理解し、かつ、学校全体の共通理解にも努めているか	
	③学科のカリキュラムを体系的に編成し、かつ、各科目を適切に配置しているか	
	④実践的な職業教育の視点に立ち、専門的な知識・技術の確実な習得に向けた教育方法等の工夫を実施しているか	
	⑤関連施設等における職場体験実習活動を十分に実施しているか	
	⑥授業の自己点検、授業研究、互見授業など実施しているか	
	⑦成績評価・単位認定の基準を明確に把握しているか、また、適切な試験等により、適正な評価を行っているか	
	⑧国家資格取得100%に向けた取組を十分に実施しているか	
	⑨学校生活の活性化のための学校行事や課外活動への適切な関与や計画・実施を行っているか	
	⑩携帯電話やスマートフォンの適正な利用に関する情報モラル・情報安全教育は実施しているか	
	⑪校内外の研修会等に参加し、研修・研鑽に努めているか	
	⑫学習支援を必要とする生徒に対する支援は十分に行っているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	C	<p>・学校はどことも授業で勝負をするもので、授業者自身の研鑽が欠かせない。そのためにも互見授業や生徒による授業評価など客観的な視点が必要だと思う。</p> <p>・やはり特化した項目をつくるべき。企業がどんな人材を欲しているかヒアリングが必要。医療の現場や幼稚園などに出向いて現場の意見を吸い上げることも生徒のサポートに大きくつながるものと思われる。</p> <p>・⑩について、携帯電話、スマホの取り扱いに関する注意は専門学校の行う業務ではない。自分できちんと管理できないようであれば資格を取っても世の中をわたっていけない。</p> <p>・⑪について、校内外の研修については常に研鑽は必要で、外部の意見収集は必須である。</p>

4 教育成果	①就職率(求職者就職率・卒業生就職率)向上への取組を図っているか	
	②資格取得率向上への取組を図っているか	
	③退学率の低減に向けた取組に努めているか	
	④卒業生・在校生の社会的な評価や活躍を把握しているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③について、退学は学校の努力だけでどうかなるものではない。</li> <li>・④について、特徴的な取組をしている卒業生に話をしてもらったり、有効な関係性を持つことで生徒の刺激につながりモチベーションをあげるには効果がある。</li> </ul>
5 生徒支援	①就職や進路等に関する生徒相談体制の整備や十分な機能化に向けた取組を図っているか	
	②生徒の経済的側面, その他生活全般に関する相談に十分に対応しているか	
	③定期検診や健康相談など, 生徒の健康管理を十分に実施しているか	
	④倫理やマナーについての指導は適切に行っているか	
	⑤課外活動に対する支援の体制整備や積極的な関与に努めているか	
	⑥基本的な生活習慣, 遅刻などに関する指導を十分に行っているか	
	⑦保護者と適切に連携を図っているか	
	⑧卒業生への支援は十分に行っているか	
	⑨生徒のモチベーションを高めるための肯定的なコミュニケーションを実施しているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバイトをしている生徒も多く、課外活動の時間をとるのが難しいと思う。その分、学級(HR)活動など、生徒たちがホッとできる時間や空間があるといいのではないかと。担任との良好な関係を築くことで退学率の減少につながればいいと思う。</li> <li>・生徒への支援が十分図られるよう先生たちの人間力を高めるためにも研修を実施し、評価4以上となることを期待する。</li> <li>・卒業生への支援より現生徒の支援を優先して考えてよいと思う。</li> </ul>
6 教育環境	①学習に必要な施設・設備, 教材・教具等の十分な整備に努めているか	
	②施設・設備の安全管理は定期的に行っているか	
	③防災に対する体制を把握し, かつ, 整備等に努めているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に必要な環境整備は揃えることが当然であり、評価4以上であるべき。</li> <li>・防災の観点からBCP(事業継続計画)の作成は絶対が必要。</li> </ul>
7 生徒募集	①生徒募集活動は適正に行っているか	
	②生徒募集活動において教育内容・教育成果の情報提供を正確に行っているか	
	③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行っているか	
	④費用対効果に見合った適切な広報活動, 情報発信を十分に行っているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果はどうであれ、生徒獲得への努力はすべてが評価4以上であるべき。</li> <li>・②と③は評価5でなければならないのでは。</li> </ul>
8 財 務	①中長期的な学校の財務基盤に寄与するための工夫を図っているか	
	②予算の編成及び執行は適切に行い, 健全な財政状況の保持を図っているか	
	③財務について会計監査は適正に行われているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務は実績を見た結果、もっと高評価でよいのでは。</li> </ul>
9 法令遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行っているか	
	②個人情報保護について十分に把握し, 適切な対策・実施を行っているか	
	③自己評価の実施と課題の改善に努めているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①と②は法令遵守という観点から、評価5であるべき。</li> </ul>
10 社会貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献や地域貢献を行っているか	
	②生徒のボランティア活動を奨励しているか	
学校関係者の評価、及び提言・意見	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者スポーツ大会のボランティアは大変良いことだと思う。</li> <li>・生徒のボランティアは仕事に就いてからでよいのでは。今は資格取得に励むべき。</li> </ul>

学校関係者  
評価委員の  
総評

- ・現在、経営は安定しており、堅実な経営をされている。しかし、2つの学科が定員未充足であり、また、今後の18歳人口の減少を考えると、将来計画をしっかりと立てる必要がある。社会人入学を増やすことも重要かと思う。コロナが収束し、生徒が元気に笑顔で勉学に励むことを期待している。
- ・医師事務作業補助者の導入を始め、社会のニーズをとらえながら新たな試みをされる等、中長期的視野に立った経営に取り組まれていると感じる。この導入をPRし医療事務管理士学科の入学生が増えるよう、また、社会人の中で医療事務に関心がある人のニーズやリスクの1つとして医療人を考えている人等を発掘していくことも大切だと思う。専門学校に送り出す高校側としては、面倒見がよく社会のニーズが高い資格を取得し、就職率が高い学校を期待する。
- ・資格取得合格率の高さは誇れるもの。電車通り側にPR垂れ幕を下ろしたらどうか。
- ・終身雇用が当然ではなくなった今、学校は資格取得だけでなく、大人になってからも広く学び続ける人材を育成しなければならぬ。そういう意識付けをお願いしたい。また、卒業生の実態把握は必要なこと。大事なのは相対評価ではなく進歩し続けているか、ファシリテーションスキルは絶対に必要。
- ・これからは、広い知識を駆使して、未来への視点や見通し、眺望を情報に加工・提供するスキルを求められている。そのため、学校で得た情報をさらに深く掘り下げて知識に変換し、理解して分析する力、さらには課題を設定し、解釈して表現する力を育むことが大切。